

講義科目名称： 健康子ども学 I

授業コード：

英文科目名称： Principles of Healthy Children I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
戸松 玲子			
月3			
添付ファイル			

科目の概要	子どもを巡る諸問題の社会的要因となる背景について学ぶ。また、こどもの体と心のつながりについて考え、子ども理解の専門基礎を身に養う。
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション ”こども”とは？、”健康”とは？ 2. 子どもを巡る今日的課題 子ども・家庭を巡る歴史の変遷 3. 子どもの生活史と教育史 伝統社会における子どもの生活と教育 近代学校教育の発足と子どもの生活 大正期の新教育と子どもの生活 4. 子どもの育ち① 身体発育と心の関係について知る 5. 子どもの育ち② 遊びを通して育つ子ども 6. 子どもと環境 子どもの生物学的行動様式と育ち 7. 就学前の教育・保育における子どもの育ち 就学前保育施設の中での子どもの生活 8. 乳幼児期の社会性の発達 友だちや保育者とのかかわり 乳幼児期の対人関係と社会的適応 9. 基本的生活習慣と子どもの健やかな育ち① 子どもの睡眠と育ちの関係について 10. 基本的生活習慣と子どもの健やかな育ち② 子どもの食行動と育ちの関係について 11. 子どもとメディア 子どもをとりまくメディア環境の変化 メディアが与える心理的影響乳幼児期の社会性の発達 12. 子どもの虐待① 格差社会と子どもの発達 13. 子どもの虐待② 児童福祉の変遷と支援 社会的養護の動向 14. 子どもの虐待③ 子ども虐待の理解 15. まとめ② 今日の子どものを巡る諸課題について自分なりの考えをまとめる
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者・教育者として自分なりの子ども観を述べられるようになる。 ・ 子どもの健やかな育ちの背景にある様々な現象を科学的に理解し、論じることができる。
授業の方法	
成績評価の方法	定期試験：80% 課題・レポート：10% 授業への参加度：10%
教科書・テキスト	『子ども学がひらく子どもの未来——子どもを学び,子どもに学び,子どもと学ぶ』 稲垣由子, 上田淑子, 内藤由佳子 編著、北大路書房
参考書	『子ども学概論』 稲垣由子、丸善プラネット

授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から子ども関連の話題について情報収集を行い、自身の考えや意見をまとめておくこと ・毎授業終了後、復習は怠らない事
履修上の留意事項	
オフィスアワー	毎昼休み
担当教員への連絡方法	r-tomatsu@osaka-aoyama.ac.jp
その他	